

(FP03910)

Japanese Utility Model Application Laid-Open No. SHO 53-16617 discloses an attaching apparatus of a structural body which attaches a structural body placed outer side of attaching planes on a structural base body forming the attaching planes being about parallel, wherein,

a tubular means is fit between the attaching planes of the structural base body, further, a screwed stick inserted in the attaching planes and the tubular means, is screwed to be integrally fit with the structural body.

正



実用新案登録願 (D) 後記号なし

昭和 51 年 7 月 23 日

特許庁長官

1 考案の名称
カ コ タ ト リ フ ケ ソ ク チ
架 構 体 の 取 付 装 置



2 考 案 者
住 所

大阪府門真市大字門真1048番地
ナショナル住宅建材株式会社内

氏 名

ス入" キ カス" オ
鈴 木 和 夫

3 実用新案登録出願人

住 所

大阪府門真市大字門真1048番地

名 称

(467) ナショナル住宅建材株式会社

代 表 者

山 下 茂 男

4 代 理 人

住 所

大阪府門真市大字門真1048番地

氏 名

(6201) 松下電工株式会社 特許課内
弁理士 竹 元 敏 丸

(ほか2名)

5 添 付 書 類 の 目 録

- | | | |
|-----|---------|--|
| (1) | 明 細 書 | |
| (2) | 図 面 | |
| (3) | 委 任 状 | |
| (4) | 願 書 副 本 | |

- | |
|-----|
| 1 通 |
| 1 通 |
| 1 通 |
| 1 通 |

51 099019

方 式 査 納



53. 16617

明 細 書

1. 考案の名称

架構体の取付装置

2. 実用新案登録請求の範囲

略平行なる取付平面を形成せる架構基体に該取付平面の外方に位置する架構体を取付ける架構体の取付装置に於て、架構基体の取付平面の間に管体を嵌合架設すると共に取付平面及び管体に嵌挿せる螺棒に架構体を嵌合し一体に螺着して成る架構体の取付装置。

3. 考案の詳細な説明

本考案は、建築物の柱に梁の端部を突き合わせ取付けたり、梁に小屋束の下端部を取付ける際等に用いるのに最適な架構体の取付装置に関するもので、取付強度が大きいと共に架構基体の変形が小さい架構体の取付装置を提供せんとするものである。

以下、本考案を図面に基づいて詳細に説明する。

第1図に示す架構体の取付装置(I)は、溝形鋼を用いた柱で成る略平行なる取付平面A、Aを形成

せる架構基体 B に該取付平面 A , A の両側部に位置する端部に取付プレート 1 , 1 を溶接せる溝形鋼を用いた梁で成る架構体 C , C を取付ける架構体の取付装置に於て、架構基体 B の取付平面 A , A の間に円管で成る管体 D を嵌合架設すると共に取付平面 A , A 及び管体 D に嵌挿せる螺棒 E に架構体 C , C の取付プレート 1 , 1 を嵌合し、更に螺棒 E の両端にナット 2 , 2 を螺装する事により一体に螺着して成るもので、柱で成る架構基体 B の取付平面 A , A に梁で成る架構体 C , C が及ぼす負荷を管体 D 及び螺棒 E が支持伝播する為取付強度が大きいと共に架構基体 B の変形が小さいものである。

第 2 図に示す架構体の取付装置(II)は、溝形鋼を用いた梁で成る略平行なる取付平面 A , A を形成せる架構基体 B に該取付平面 A , A の上方に位置する下端部に取付プレート 1 を溶接せる溝形鋼を用いた小壁束で成る架構体 C を取付ける架構体の取付装置に於て、架構基体 B の取付平面 A , A の間に角管で成る管体 D を嵌合架設すると共に取付

1 平面 A、A 及び管体 D に嵌挿せる螺棒 E に架構体
2 C の取付プレート 1 を嵌合し、更にナット 2 を螺
3 装する事により嵌合し一体に螺着して成るもので
4 ある。

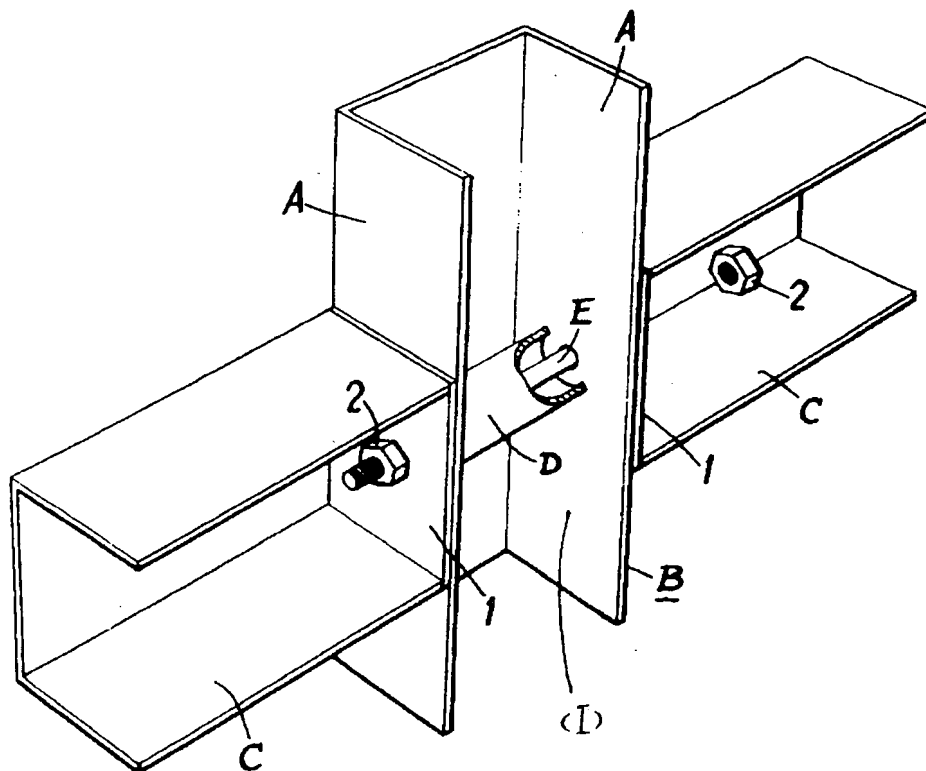
5 上記の如く、本考案の架構体の取付装置は、略
6 平行なる取付平面を形成せる架構基体に該取付平
7 面の外方に位置する架構体を取付ける架構体の取
8 付装置に於て、架構基体の取付平面の間に管体を
9 嵌合架設すると共に取付平面及び管体に嵌挿せる
10 螺棒に架構体を嵌合し一体に螺着して成るので、
11 架構基体の取付平面に架構体が及ぼす負荷を管体
12 及び螺棒が支持伝播する為取付強度が大きいと共
13 に架構基体の変形が小さい。

14 4. 図面の簡単な説明

15 第 1 図及び第 2 図は本考案の各々異なった実施
16 例の一部分解斜視図である。

17 A … 取付平面、B … 架構基体、C … 架構体、D
18 … 管体、E … 螺棒。

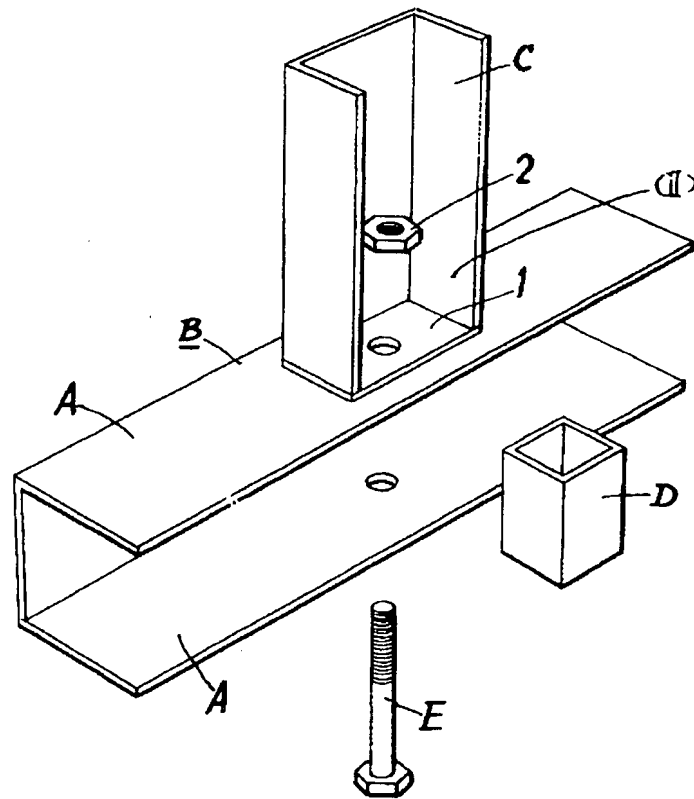
第 1 図



6617 5

代理人 井理士 竹元 敏 丸 外 2 名

第 2 図



代理人 井理士 竹元 敏 丸 外 2 名

6 前記以外の考案者、実用新案登録出願人または代理人

(1) 考 案 者

住 所

氏 名

(2) 実用新案登録出願人

(3) 代 理 人

住 所

大阪府門真市大字門真1048番地

松下電工株式会社 特許課内

氏 名

(7338) 弁護士 佐 藤 成 永

住 所

大阪府門真市大字門真1048番地

松下電工株式会社 特許課内

氏 名

(7587) 弁護士 川 瀬 幹 夫

53-16617